

コード	103050103
記入日	H25.6.7

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	中多 育郎

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	須崎地区交通補助事業
----------	------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	1
基本事業コード	10305	基本事業名称	バス交通の充実	目コード	1
事務事業コード	1030501	事務事業名称	地区交通整備事業費	細目コード	881
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。						
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 須崎地区住民		(対象指標1) 69人						
(対象2)		(対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		・地区郷長と交通事業者との契約に赤字分を補助金として、地区に支出した。 ・乗車料金 →大人 500円/1回 →事業費 1,594,950円 →町補助金 1,559,450円 →受益者負担金 35,500円		*****	*****	*****	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	*****
				① (達成率分析)	1件	100%	平成24年度	
				② (達成率分析) 年間の乗客数に見合う受益者負担分を除いた補助金を支出した。				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
				*****	*****	*****	利用回数÷ 利用申請回数	*****
				① (達成率分析)	60回	100%	平成24年度	
				② (達成率分析) 利用申請どおり利用されている。				
				*****	*****	*****	-	*****
				② (達成率分析) 住民の利便性の確保				
				定期バスが運行していない地区において公共交通空白を解消するため補助金を交付することで、住民の利便性の確保が図られる。				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		23年度以前	24年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	8	8	7	1	1					
	②										
成果指標	① 回	1,793	1,793	1,733	60	60					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	17,479	17,443	15,184	2,295	2,259					
直接事業費 A	千円	11,879	11,843	10,284	1,595	1,559					
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	17,479	17,443	15,184	2,295	2,259					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	車社会とはいえ、地区住民の足はほとんど確保されていないため、住民生活に支障をきたしているため必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	住民の要望を反映したものとなっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	乗車料金（受益者負担金）の見直しを図ることで経費の削減が図られる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	住民生活の利便性の確保が図られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	事業費及び人件費は適切である。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	計画に則った実施事業であり、現在のところ見直す必要はない。
	今後、課題に向けた改善策	補助金の見直しを行うためには、業者見積による契約額の削減が必要である。

2次評価	バスの未運行区間であり、住民の医療・福祉をはじめとする生活確保のため必要な事業であり継続を図ることとするが、今後、受益者負担のあり方・見直しなど、補助の基礎となるものについて検証していくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		
	●				このまま事業を継続
		●			事業内容を見直して事業を継続
					事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次		
			類似事業と整理統合		
			事業の休止		
			事業の廃止		

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。